日本精神保健福祉士協会

熊本市で全国大会開幕

日本精神保健福祉士学会学術集会を兼ねた日本精神保健福祉士協会の全国大会が22日、熊本市中央区大江の県立劇場で始まった。23日まで。

全国の精神保健福祉士（PSW）ら約千人が参加。開会式で、日本協会の柏木一恵会長が「時代や社会の要請に応えられる力量ある精神保健福祉士であるために、一層の研さんに励んでほしい」とあいさつした。

竹中秀彦・日本協会前会長が「精神保健福祉士の原点と専門性の共有を求めて」と題して基調講演。PSWの国家資格化に尽力した城ケ崎病院（玉名市）元院長の故三村孝一氏の思い出を交え、「当事者や家族のニーズは何なのかをいつも意識し、実現を目指すことが大切」と話した。

高次脳機能障害がある歌手の一ノ瀬たけしさん（山鹿市出身）らの講演もあった。大会は21日にプレ企画を開催。23日は援助実習の在り方や患者の権利擁護などをテーマにした分科会がある。

大会は福島県で開催予定だったが、東日本大震災の影響で開催地が熊本市に変更された。県内開催は初めて。（隅川俊彦）

日本精神保健福祉士協会全国大会の開会式であいさつする柏木一恵会長＝熊本市